

(第7回) 重信川流域治水協議会及び (第12回) 重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・ 実施日 : 令和7年5月30日(金) 15:00~15:50
- ・ 場所 : ホテルアイスル松山「芙蓉南の間」(WEB会議併用)
- ・ 出席者 : 松山市長(代理:防災危機管理部長)、伊予市長、東温市長、松前町長、砥部町長、愛媛県土木部河川課長、愛媛県中予地方局地域産業振興部長、愛媛県中予地方局建設部長、農林水産省道前道後用水農業水利事業所長、愛媛県警察本部災害対策官、国土地理院四国地方測量部長、気象庁松山地方气象台長、林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署長(代理:愛媛森林管理署次長)、森林研究・整備機構森林整備センター中国四国整備局松山水源林整備事務所長
- ・ 事務局 : 松山河川国道事務所

●開催状況



会議状況



武智伊予市長発言状況



田中松前町長発言状況

●共有・確認事項

- ・ 水害リスクに関する情報提供について。
- ・ 減災に向けた取り組みの紹介。
- ・ 取組に関する確認・周知。
- ・ 水災害予報センターより話題提供。
- ・ 河川情報センターより話題提供。
- ・ 各市町より話題提供。

●決定事項

- ・ 重信川水系内外水統合の多段階浸水想定図及び水害リスクマップの公表について了承された。

●テレビ・新聞等への取材状況 なし

●出席者発言要旨

【減災に係る各機関の取り組み状況について】

- ・災害時の逃げ遅れをなくすため、松山逃げ遅れゼロプロジェクトを実施。マイタイムライン防災アプリを導入し、広く普及に取り組んでいる。
(松山市 防災危機管理部長)
- ・雨水ポンプの設備更新や制水ゲートの回収を行い、内水の管理に対して安全向上を図っている。出水期に向けて、消防団の水防訓練を実施。
(伊予市長)
- ・小学校の児童を対象としたマイタイムラインの講座を行っている。
- ・令和7年3月に県管理河川における洪水想定区域が公表されたことに伴い、新たに追加された情報を反映した東温市洪水ハザードマップを作成。
(東温市長)
- ・筒井地区役場の西側エリアの内水氾濫を起こしやすいエリアに東西方向に雨水貯留施設整備している。浸水水位は20cm以下に軽減予定。工事期間は令和6年度から令和8年度の3カ年予定。
(松前町長)
- ・高尾田地区の浸水被害に対して、雨水排水機場の整備を進めており、地質調査や詳細設計に着手している。早期の完成に向けて引き続き取り組む。
- ・気候変動による降雨量の増大と激甚化、頻発からする水害に備えるためには、重信川の地域のあらゆる関係者が共同して取り組んでいくことが重要。
(砥部町長)

【出席者からの意見】

松前町雨水貯留施設が参考になった。
城北地域に関しては昨年、河川氾濫があたので、その対策がこれから重要になってくる。各市町の取り組みを今後の参考にしながら対策を進めていきたい。
(松山市 防災危機管理部長)

近年の雨の降り方は、全く想定がつかない状態。浸水するエリアの雨水対策で、万が一の時には高台等への避難について協力も要請している。
(伊予市長)

重信川の最上流を預かる東温市として市民の皆様、企業の皆様にも呼びかけ重信川のゴミ対策に取り組んでいる。流域治水に関しましては山地砂防を含め、棚田・田んぼダムの効果も十分活用しながら対策を進めていきたい。

(東温市長)

平成29年台風18号の時にかなりの漏水被害の方が出た。松前町は川に囲まれているため周辺市町村の助けなしでは高台への避難できない状況。災害時の避難協議が必要であり、今後協議の再開をお願いしたい。

(松前町長)

ハードを整えても、いつか何か起きてしまう、それが災害であると認識している。災害情報をどう届けるかが非常に課題。

どんな情報をどういうツールで周知するのかを皆さんと今後意見交換が必要。

(砥部町長)

取り組み・広報媒体がどこまで届いているか疑問なところがあり、広報の仕方については今後協議会を活用しながら連携していきたい。

(葩島事務所長)